

## 陳 情 文 書 表

(建設局)

受 理 番 号	1 3 4	受 理 年 月 日	令和3年2月18日
件 名	大宮交通公園の改善等		
要 旨	<p>大宮交通公園は、先日配布されたビラに掲載されているように、開園は春と間近に迫ってきた。</p> <p>そもそも大宮交通公園は、緑あふれるオープンスペースで、京都市内唯一のゴーカートがあり、子供たちからお年寄りまでが楽しめる公園である。そこは、良好な都市環境を提供し、広域避難場所として地域等の災害から市民を守り、豊かな地域づくり、活性化に寄与してきた。ところが、京都市は、法的には公園内に消防署を建設することができないため、公園の一画（15パーセント）を用途変更することで削減し、北消防署の移転・建設を進めてきた。それも都市公園をみだりに廃止してはならないと定める都市公園法に違反している。</p> <p>北消防署の建設によって、緊急車両が昼夜を問わずサイレン音（前方20メートルで90デシベルから120デシベル以下であること）を鳴らしながら公園周辺を走行することになる。また、多くの木々が伐採され、コンクリートの塊の消防署が建設されることにより、住環境に悪影響を及ぼし、公園の利用者の目的でもある休息やレクリエーションを阻害することになりかねない。</p> <p>子供たちが大変楽しみにしている、ゴーカートを残そうという署名には、1,776名（子供を含む）の方々が賛同し、2017年7月には京都市に要望、提出している。</p> <p>多くの子供たちの声を無視し、サイクルセンターとして自転車教育が予定されているが、それは学校の校庭で行われており、わざわざ自転車教育を公園の主な目的に変える意味が理解できない。ゴーカートを廃止して自転車教育にかじを切ることは、子供たちの遊びや喜びを奪ってはいけないという子どもの権利条約にも違反しているのではないか。</p> <p>京都市は消防署と公園の一体化を主張しているが、公園の役割を台無しにしかねない。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ゴーカートのコースは短くなったが、イベント時や様々な機会にゴーカートを走らせること。</li> <li>2 木々を植林し、緑あふれる公園にすること。</li> <li>3 コミュニティルームの利用料金は住民が利用しやすい低料金にすること。</li> <li>4 サイレン音の回数を減らすために、現消防署を存続させること。</li> <li>5 消防署を再度移転し、消防署建設のために用途を変更した土地を公園に戻すこと。</li> <li>6 開園の前に説明会を開催すること。</li> </ol>		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		